



*Beltone*TM



Solus Max
&
Commence-コメンズ
Mini RIC / RIC

基本操作テクニック&110番

Commence - 110番 ①

A 顧客データの作成をしましょう。



※ 現バージョン（SolusMax Ver.2.1）より顧客の表示方法・補聴器の接続が変更となりました。

1 Beltone Solus Maxを左ダブルクリック  で開きましょう。

※ 現バージョンより、補聴器を接続する時点であらかじめ設定されたインターフェースを自動的に探しにいくよう仕様変更がありました。初期設定は「Speedlink」となっているためスムーズに接続できるように、メインで使用しているプログラミング・インターフェースへ設定を変更しておくようおすすめいたします。

2 上部の「プリファレンス」を左クリック します。

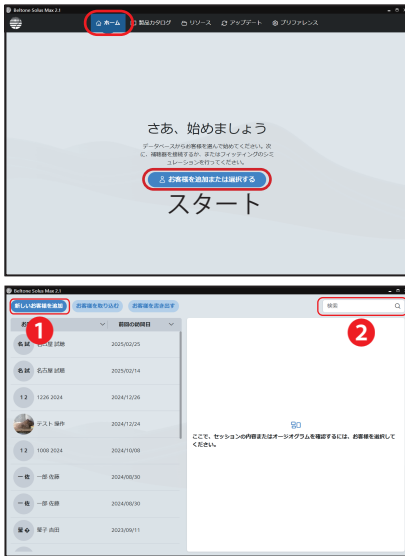


- ① 「プログラミング・インターフェース」部「Speedlink」を左クリック します。
- ② プルダウンしてきたものから、使用する機器を選択します。
（「Noahlink Wireless」に変更します）
- ③ 右下の「保存」を左クリック します。

これでプログラミング・インターフェースの変更が完了しました。

Commence - 110番 ②

3 「ホーム」に戻り、中央の「お客様を追加または選択する」を左クリックして顧客画面を開きます。



新規登録 の場合

1. **1** **新しいお客様を追加** を左クリックします。

2. **個人情報** の **名** と **姓** の欄に必ず **名・姓** とも入力します。未入力があるとエラーとなり保存できません。

再調整 の場合

1. **2** で顧客の検索をします



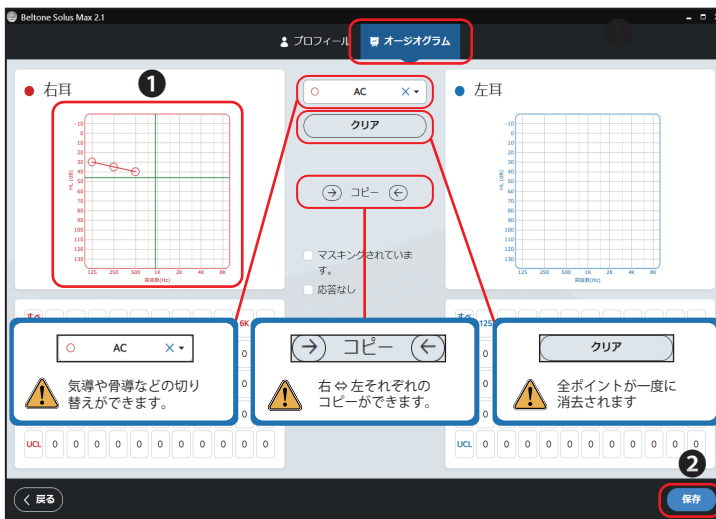
姓・名（一部でも可）
入力で検索可能です。



※ 顧客を選択してから **4** へ進みます。

4 **オーディオグラム** 「オーディオグラム」を左クリックします。

※新規の場合 もしくはオーディオグラムを変更したい場合に使用します。



1 グラフ上で左クリックしながら、左右のオーディオグラムを入力します。(右クリックは入力取り消し)

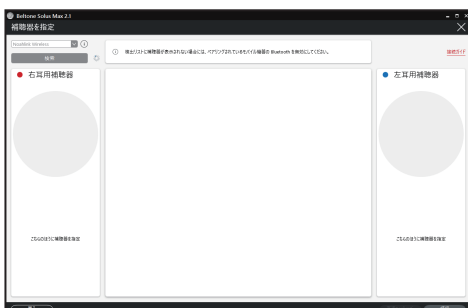
2 右下の **保存** を左クリックし、



と表示されたら保存完了です。

5 開いたウィンドウの中の **フィッティング** ボタンを左クリックします。

6 開いたウィンドウで **Beltone Solus Max に接続する** をクリックします。






このウィンドウに入ると、自動で補聴器を探しに行きます。
2 でプログラミングインターフェースを変更していない場合
次の方法でも変更が可能です。

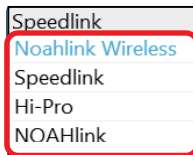
Commence - 110番 ③

B これから Commence の接続を始めましょう。

ステップ①

補聴器の自動検索が終わったら、左上の **Noahlink Wireless** 部分の  部分を  を左クリック  します。

ステップ②



【対応インターフェース】： Noahlink Wireless のみ

プログラミング・インターフェースの中より「Noahlink Wireless」を選択します。
(今までの「Airlink2」/新しい「Noahlink Wireless2」をお使いの方も、「Noahlink Wireless」を選択します。)


ステップ③

補聴器の電源を入れます。
その後Noahlink Wirelessにできるだけ補聴器を近づけて置いてください。

電源の入れ方

【電池式補聴器】
補聴器のバッテリーロッカーを閉めてオンにする

【充電式補聴器】
補聴器のプッシュボタンを5秒間長押ししてオンにする

 充電式は電源が入ってから**1分以内**に接続してください。
それ以上になると、再度「オン」「オフ」をするようにうながされる可能性があります。

【確認方法】

LED表示	電源オン:1秒点灯
	電源オフ:3回点滅

ステップ④

① 再度 **検索** を左クリック  して補聴器を検出します。

② 補聴器の検出時にレーザーを自動的に認識します。
念のため「ピープ音」で確認し、「右(左)を指定」または「左右へ割当」をクリックすると、左右へ割り振られます。




③ 右下の **続行** を左クリック  します。

ステップ⑤



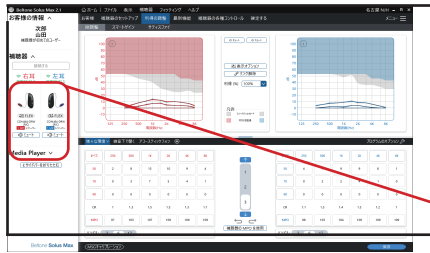
試聴器でグレードを選択できる機能がつきました。
これにより1台の試聴器で各グレードが試せます。
補聴器接続後グレード選択の画面になりますので、
任意でグレードを選んでください。

※ 62は「4」と「3」のみ
64は「4」～「2」まで選択可能

続行 を左クリック  します。

※ 最後にキャリブレーション画面が表示され、「続行」をクリックしたらフィッティング画面に入ります。

Commence - 110番 ④

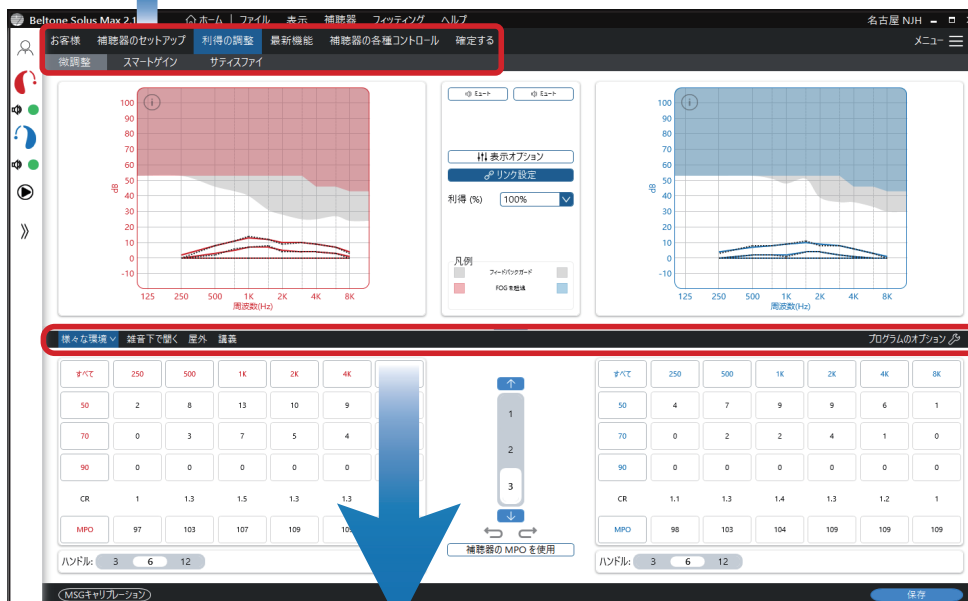
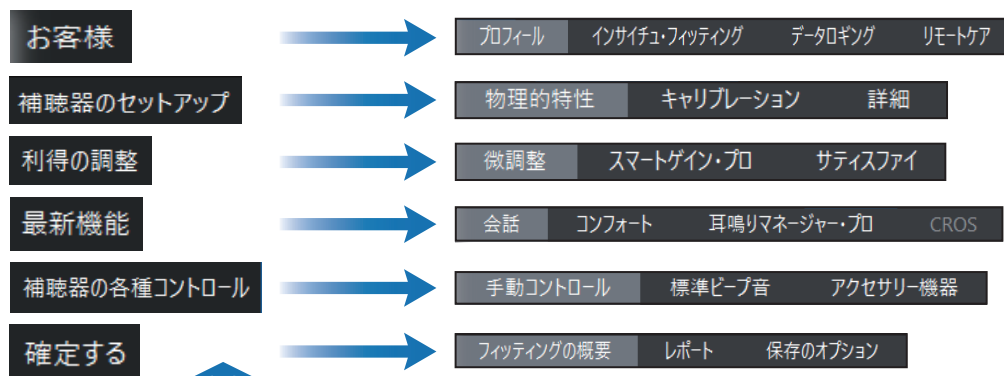


③ この画面になったら、補聴器の接続は完了です。



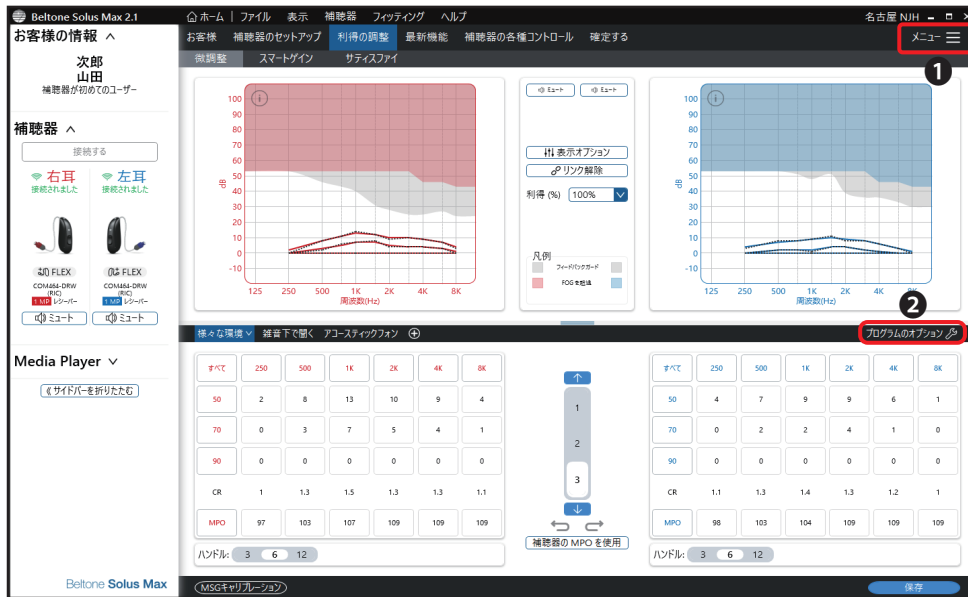
Commence のフィッティングをします。

補聴器接続後、画面左上の目的の項目をクリックし、フィッティングの画面に移ります。



プログラムボタン

プログラムのオプション
(自動調整・プログラムの管理など)



ポイント フィッティングをどのようにすればいいかわからない場合

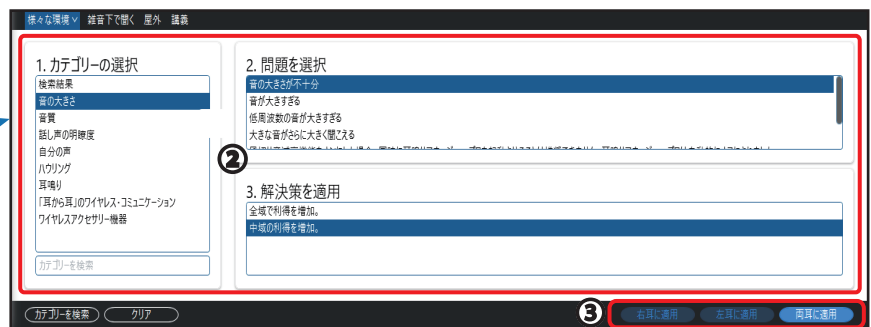
① 右上にある **メニュー** を左クリックしてください。内容が提示されます。



① 「**Solus Maxのガイド**」を左クリックします。

② 開いたウィンドウで番号順に必要な項目を左クリックします。

③ 右下のボタンで適用させたい耳を左クリックします。



※ Solus Proでの調整の場合、「フィットリングウィザード」の名称になります。

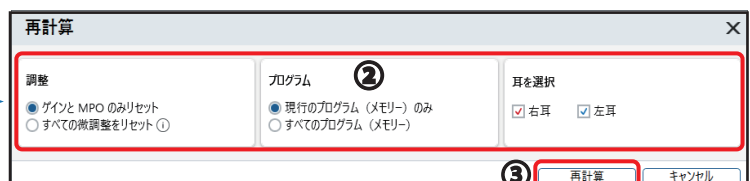
ポイント お客様の聴力にあわせて自動調整を行いたい場合

② 右中段にある **プログラムのオプション** を左クリックすると、内容が提示されます。

① 「再計算」を左クリックしてください。再計算ウィンドウが開きます。

② 再計算をする調整・プログラム（メモリー）・適用耳を選択し、左クリックします。

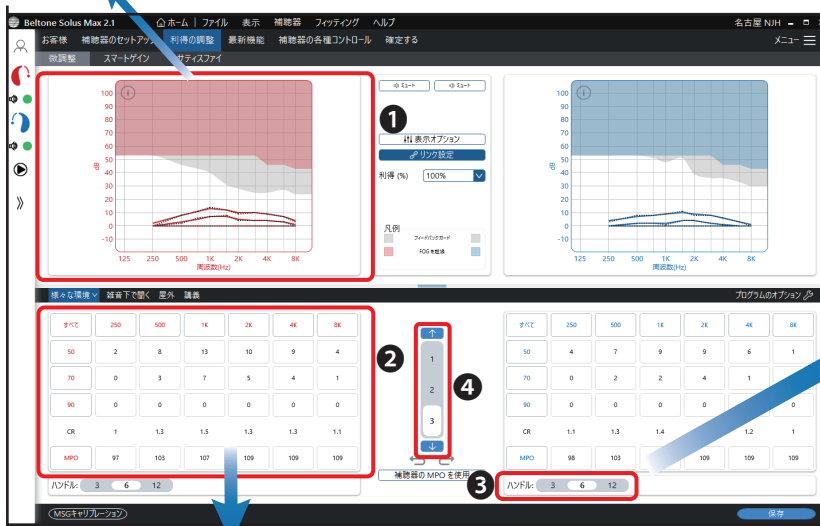
③ 左下の「再計算」ボタンを左クリックします。



Commence - 110番 ⑥

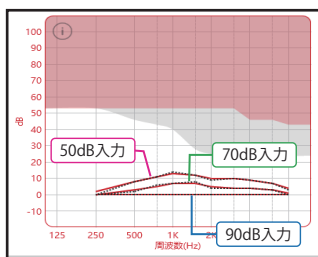
D グラフを見ながら、音量の調整をしていきます。

① グラフ(50dB入力 / 70dB入力 / 90dB入力)



③ 「ハンドル」を変えることで細かく調整できる周波数域を増減できます。
 Commence 4 (3/6/12)
 Commence 3 (4/8/10)
 Commence 2 (3/6/10)

② 利得 (50dB / 70dB / 90dB) / MPO 音量の増減 (幅)



- すべて >>> 50 / 70 / 90 全体の音量調整をします。
- 50 >>> 小さい声、2～3m以上離れた音
- 70 >>> 普通の声(1m)、1～2mの音
- 90 >>> 大きな音(耳元)、1m以内の音
- MPO >>> 出力制限、周りの音が響かないように出力音の上限を決めます。

		周波数 (Hz)						
		すべて	250	500	1K	2K	4K	8K
入力音 (dB)	50	2	8	13	10	9	4	
	70	0	3	7	5	4	1	
	90	0	0	0	0	0	0	
	CR	1	1.3	1.5	1.3	1.3	1.1	
出力音 (dB)	MPO	97	97	97	97	97	97	※6ハンドル選択時

低音域 中音域 高音域

④ 利得調整と出力調整をします。まずは音量の増減を行い、その後MPOの増減を行います。

⇒ ① 縦に並んだ数字の1・2・3 (dB)より増減幅を選択し左クリック🖱️します。

② ⬆️ ⬆️ キーで入・出力音の増減をします。

これらを、必要な回数分左クリック🖱️して下さい。

ポイント

音量は、1m程度で丁度よく、3mだと少し聞きづらい・・・が目安です。

『うるさくないように』『周りの音が響かないように』を心掛けましょう。

お客様との会話には『大きい声は使わず、ゆっくり、ハッキリ』を心掛けてください。

また、補聴器に慣れておられないお客様はMPOの数値が100を超えないように調整します。

E 快適な聞こえのために、補聴器の機能を活用します



ステップ① ① 「最新機能」をクリックし、目的に合わせて下段で「会話」「コンフォート」を選びます。

ステップ② ② の内容から調整したい機能を選び、スライダーにて調整します。

<会話>

- ☆ 耳介の集音に近い自然な指向性！ S/N比向上 ……………「指向性」
- ☆ 無指向性処理と指向性処理が混在した周波数の調整をしたい！ ……………「ミキシングポイント周波数」
- ☆ 聞こえづらい高周波の音を、聞こえやすい中周波数側に移行したい！ ……………「サウンドシフター」

<コンフォート>


- ☆ ハウリングの抑制量をお客様のニーズによって変更したい！ ……………「フィードバックイレーサー2」
※ 詳細は8ページ参照
- ☆ 環境雑音を抑制したい！ ……………「サウンドクリーナー・プロ」
- ☆ 不快な風切り音を減らしたい！ ……………「風切り音の減衰」
- ☆ 突発的な衝撃音を防ぎたい！ ……………「インパルスノイズリダクション」
- ☆ 回路ノイズを抑制したい！ ……………「サイレンサー」

ハウリングの抑制をお客様のニーズによって変更したい!

MSGキャリブレーション を左クリック  し、ハウリング抑制処理を行います。

※ MSGキャリブレーションを行う前にも、ある程度のハウリングを抑制するための「セーフガード」が初期設定としてあらかじめ働いています。

ステップ①

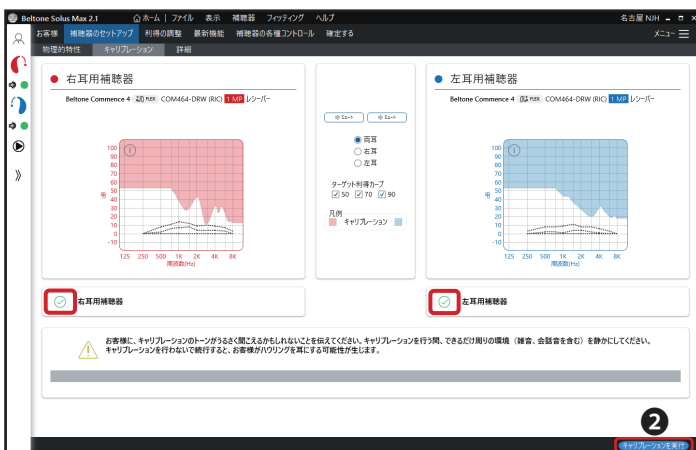
① 左下の **MSGキャリブレーション** を左クリック  します。



ステップ②


② 右下の **キャリブレーションを実行** を左クリック  します。

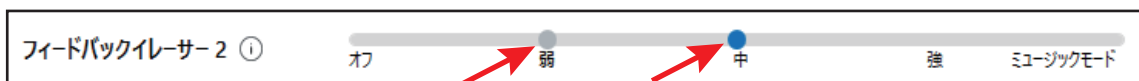
マークが出たら、MSGキャリブレーションが完了した合図です。



周囲の環境がうるさいと、うまくいかない場合があります。お客様には検査音が鳴っている間は声を出さないように指導し、できるだけ静かな環境（静かな事務所レベル）で実行してください。

ステップ③

③ 上部の「最新機能」を左クリック  し、「フィードバックイレーサー2」部分にてハウリング抑制機能の強度の変更を行います。



※ グレードによって選択できるポイント数が変わります。また、推奨の強さにはグレーの●印がついています。自動調整を行った場合は、推奨値に●印がついています。

F どこにいても一番良い聞こえ、スマートゲイン

お客様がどのような音声環境にいるのかを7つに区分し、その環境に適した音量に自動調整します。

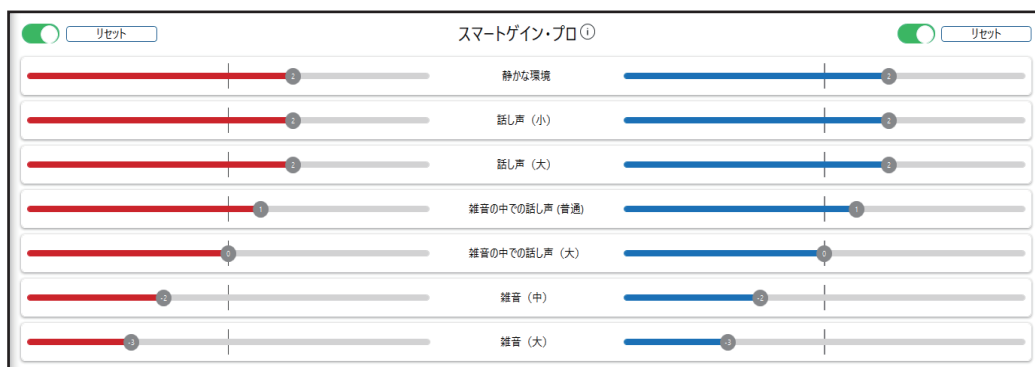


ステップ①

① 「スマートゲイン・プロ」を左クリック  します。

ステップ②


初めて補聴器を使用される方は、初期の状態をおすすめします。

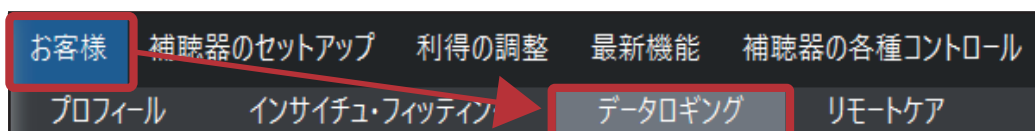


補聴器を既にお使いの方は、必要に応じてデータロギングのデータを参考にしながら②にて調整して下さい。

ポイント

データロギングを確認したい場合

「お客様」→「データロギング」の順に左クリック  し、画面を開きます。



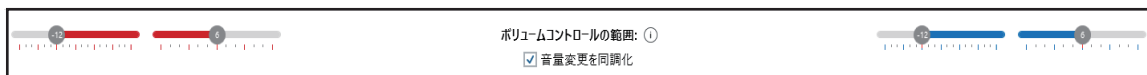
G 電池容量低下のお知らせ音などを、お客様に確認して頂きます。



補聴器の各種コントロールを使ってみます。

ステップ① フィッティングメニューの中の **①** 「補聴器の各種コントロール」を左クリック します。

ステップ② **②** 中にある「ボリュームコントロール範囲」で補聴器とリモコンのボリューム調整時の可変幅が設定できます。



ボリューム範囲の設定のみ、 **音量変更を同調化** にチェックが入っていれば片方の補聴器で調整した音量に反対側も自動で調整されます。

ステップ③ **③** 中にある「ボタンのオプション」で補聴器の押しボタンのカスタマイズをすることができます。(補聴器のボタンを1秒未満 **短押し** した場合と、1秒以上 **長押し** した場合で別の機能を使うことができます。)

▶▶▶ なし / 音量を上げる / 音量を下げる / メモリーの変更 / ワイヤレスストリーミングの起動 / 最小音量 / ミュート / ミュート解除 より選択可能

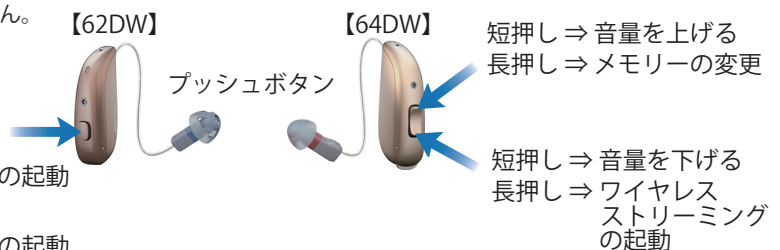
※ 初期設定のままが良い場合は、変更の必要はありません。

※ **初期設定 (両耳装用の場合)**

右補聴器：短押し ⇒ 音量を上げる
長押し ⇒ メモリーの変更

左補聴器：短押し ⇒ 音量を下げる
長押し ⇒ ワイヤレスストリーミングの起動

片耳の時：短押し ⇒ メモリーの変更
長押し ⇒ ワイヤレスストリーミングの起動



ボタンのオプション		
音量を上げる <input checked="" type="checkbox"/>	ボタンを押す (1秒未満)	音量を下げる <input checked="" type="checkbox"/>
メモリーの変更 <input checked="" type="checkbox"/>	ボタンを押す (1秒以上)	ワイヤレスストリーミングの起動 <input checked="" type="checkbox"/>

補聴器の押しボタンをカスタマイズし、複数のアクションに対応できるようにしてください。設定をテストするには、保存してから補聴器の接続を切る必要があります。

設定できたら、**④** の「標準ビープ音」タブを左クリック します。

J ワイヤレス機器の調整をする場合

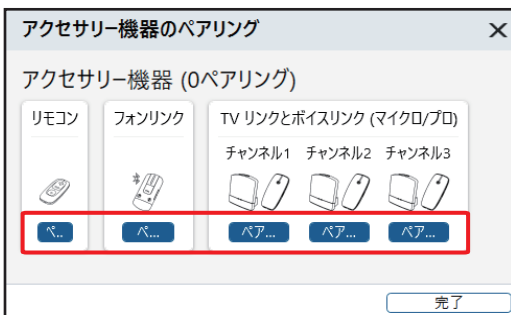
ワイヤレス機器の調整について、「補聴器の各種コントロール」部分に移行されました。ここでは低音強調とマイクとストリーミングのバランスの調整となります。

「前世代のアクセサリ機器をペアリング」をクリックするとボイスリンクやリモコンとの接続が可能になります。



「補聴器の各種コントロール」⇒「アクセサリ機器」の順で左クリック[☺]、任意の機器のタブを左クリック[☺]して調整します。

※ ワイヤレスストリーミングに変わったときの音量は直前に使用していたプログラム（メモリー）の音量となります。



「前世代のアクセサリ機器をペアリング」を左クリック[☺]すると左図ウインドウが開きますので、従来のワイヤレス機器接続を行います。「ペア…」を左クリック[☺]して接続します。



アプリをお使いの場合は画面下のワイヤレス機器の名称をタップするとオレンジのバーが出てきます。音量はここで変更してください。ブルーのバーは、マイクとストリーミングのバランス変更用です。通常のプログラム（メモリー）に戻りたいときは画面下のワイヤレス機器名称をタップするか、右補聴器のプッシュボタンを1秒以上長押ししてください。